

出力制御

旧ルール適用の太陽光発電 事業者様へ
収益改善のチャンス！





高圧太陽光発電所向け

出力制御自動化システム

高圧太陽光発電システムも出力制御の自動化が可能です

出力制御をオンライン化するだけで、
年間 150～300 万円以上 収益改善できる可能性も！

【九州実案件 予測シミュレーション例】 ※2018年10月～2019年9月までの1年間の手動出力抑制実績との比較

案件	A (宮崎県) 700kW システム		B (宮崎県) 1,996kW システム	
出力制御	 手動	 オンライン	 手動	 オンライン
出力抑制 実施回数	14 回	6 回	13 回	6 回
逸失金額	2,779,768 円	1,195,300 円	5,827,060 円	2,505,636 円
逸失割合	6.4%	2.9%	9.5%	4.3%
差額	1,584,468 円 / 年		3,321,424 円 / 年	

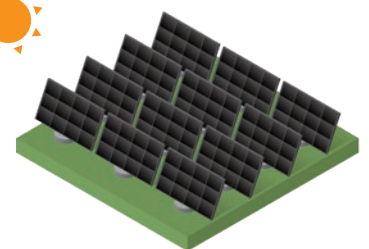
※ソーラーフロンティア調べ。導入効果を保証するものではありません。

旧ルールの高圧太陽光発電事業者様へ
(2015年1月25日以前にお申し込みされた案件)

メリットの大きい

「オンライン制御への移行」

をオススメします！



出力制御 旧ルールの場合をオンライン化することで、出力抑制量を低減できます。

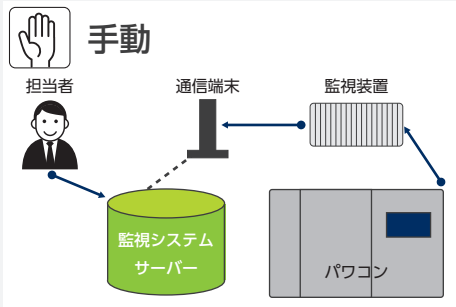
●当初、年間30日時間を上限として出力抑制する「30日ルール（1日単位）」が導入されていましたが、2015年より年間360時間を上限とする「360時間ルール（時間単位）」に変更されました。

旧ルール案件をオンライン化することで、電力会社からのスケジュールが細かく調整されるため、出力抑制量を低減できます。出力抑制の実施日数が増えるほど、手動とオンラインとの逸失利益の差額は大きくなります。

旧ルールでオンライン化していない高圧案件が、ご案内の対象です！

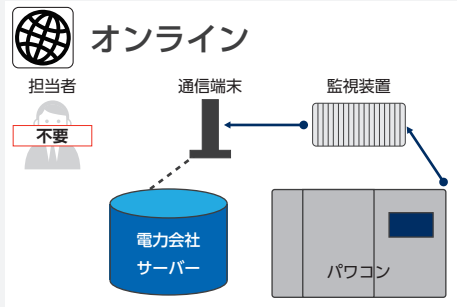
		旧ルール	新ルール	指定ルール
出力抑制期間		年間最大 30日間	年間最大 360時間	無制限・無補償
制御方法	手動	●	×	×
	オンライン	●	●	●

出力制御 手動とオンラインのちがい



●出力抑制が必要な日には、監視装置の画面から担当者が手動で停止操作を実施します。遠隔操作が不可の場合、現地にてパソコン操作が必要となります。

- 出力抑制時間が長い
- 人件費が高額



●電力会社のサーバーから電力抑制のスケジュールを監視装置がオンラインで入手して、出力抑制が必要な時間帯には自動で停止制御を実施します。

- 出力抑制時間が減少
- オンラインで手間いらず

ソーラーフロンティアではジェイシティ製 制御機器をご提案（機械監視+O&M 事業）

メリット ①

コストパフォーマンスに優れた製品。
現場の仕様によっては、
安価に導入することも可能！

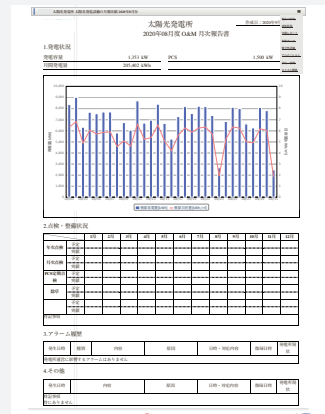
メリット ②

クラウド計測で便利機能が充実！

● PCS 別 運転監視画面 ●



● 実績レポート作成機能 ●



※画像はイメージです。実際の表示画像とは異なります。



常人監視による O&M サービスもご契約可能です！
お気軽にご相談ください！

SOLAR FRONTIER



ソーラーフロンティア株式会社

お問い合わせは当店まで。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号 帝劇ビル
URL <http://www.solar-frontier.com>

お客様サービスセンター 受付時間 9:00~17:30

☎ 0120-55-8983

※年末年始期間はお休みさせていただきます。

高圧案件オンライン化のお見積りもこちらからもお申込みいただけます！

